

ふるさと東総

平成29年3月1日発行 No.16

掲載 内容

- 東総地区広域市町村圏事務組合管理者あいさつ 2
- ごみ処理広域化推進事業 2
- 銚子連絡道路早期整備への促進 3
- 東総地区広域市町村圏事務組合の概要 3
- 中学生海外派遣研修事業 4
- その他の主な事業 4



【中学生海外派遣研修事業 交流校であるセコラ・インドネシア・シンガプーラにて】

編集・発行／東総地区広域市町村圏事務組合

〒289-2521 千葉県旭市八の612-1 東総振興センター内
電話：0479-62-3305 FAX：0479-62-3302
ホームページアドレス <http://www.tksj.jp/>

はじめに ～「活気あふれる東総地域」の実現をめざして～

昨年は、リオオリンピック・パラリンピックで史上最多となるメダルの獲得に日本中が沸き、次の東京オリンピック・パラリンピックに向けての更なる活躍が期待されます。

一方で熊本・鳥取県中部と相次いで大きな地震が発生した年でもありました。被災された地域の日も早い復興を祈らずにはられません。

また、世界情勢が不安定な中、経済の先行きも不透明で、地方の人口減少や少子高齢化など、私たちの生活に深刻な問題も数多く残っております。このような状況の中で地方には地方の役割があることを踏まえ独自性をもって、自分たちの地域は自分たちでつくり、守り、発展させていかなければなりません。地域の特性に沿った地場産業の育成など、地域の自主性および自立性を高め安心して暮らせる地域をつくるのが重要であると考えます。

東総地域においても、銚子連絡道路をはじめとする道路網や広域ごみ処理施設などの住環境整備、更には医療・福祉施策など広域的な行政サービスの充実が望まれております。まだまだ多くの課題はありますが構成市と連携をとり、これからも地域の皆さまと一体となって、この東総地域の恵まれた自然環境、観光資源や産業基盤などを活かし、人と自然が調和し、「活気あふれる東総地域」の実現に向け、広域行政に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

東総地区広域市町村圏事務組合管理者（旭市長） 明智 忠直



ごみ処理広域化推進事業

広域のごみ処理施設と最終処分場の建設を進めています

事務組合では、皆様のご家庭や事業所から排出される一般廃棄物を処理する広域ごみ処理施設と広域最終処分場を整備する「ごみ処理広域化推進事業」を進めています。

広域ごみ処理施設は銚子市野尻町地区を、広域最終処分場は銚子市森戸町地区を建設計画地とし、周辺環境に十分配慮した施設とするため、大気、水質、騒音、悪臭などの調査を実施してきました。今後は、環境保全対策を作り上げるとともに、施設の建設に向けて取り組んでいく予定です。

銚子市、旭市、匝瑳市それぞれの既存のごみ処理施設は老朽化し、最終処分場の埋立残余量も少なくなっているため、3市ともに新たなごみ処理施設と最終処分場の建設が急務です。これらの施設は、私たちの生活に欠かすことができない重要な施設です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



ごみ処理広域化のメリット

① ごみ処理経費を縮減できます

3市共同で施設を集約し、新たな広域ごみ処理施設と広域最終処分場を建設することで、施設稼働後の維持管理費も含め、ごみ処理経費の縮減を図ることができます。

② より環境に配慮した施設となります

新たな広域ごみ処理施設では、焼却によって発生する熱を利用した発電が効率的に行えるようになります。その結果、発電所における化石燃料等の消費を少なくすることができるため、間接的ですがCO₂の排出を抑制し、地球温暖化防止に貢献できます。

また、安定した燃焼管理や高度な排ガス処理が可能となり、ダイオキシン類の削減など、より環境に配慮した施設整備が可能となります。

新たな広域最終処分場は、埋立地を建屋で覆ったクローズド型を採用予定であり、浸出水の発生量を抑制し、外部への無放流が可能となります。また、埋立物の飛散防止や景観の向上など、より環境にやさしい施設となります。

銚子連絡道路早期整備への促進

地区大会

平成28年5月24日、銚子市青少年文化会館において第18回銚子連絡道路整備促進地区大会を開催いたしました。国・県・沿線市町関係者等大勢の方々の出席のなか、大会主催者代表としてあいさつに立った山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会会長（旭市長）は、「たくさんの人と物が往来し、地域経済の発展を促すと共に、地域住民が安心して豊かに暮らせる社会を確立するためにも、道路網の整備が不可欠である。」と、銚子連絡道路の早期整備の重要性を来場者に訴えました。

また、「～振り向けば未来～歴史から学ぶ未来の国づくり町づくり」と題しましてジャーナリストで明治大学教授の蟹瀬誠一氏による基調講演を行いました。

会長あいさつ



県へ要望書提出



要望活動

第18回銚子連絡道路整備促進地区大会での決議をふまえて、平成28年10月28日、山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会は、地元選出議員である林幹雄衆議院議員の紹介で、衆・参国会議員、財務省、国土交通省及び関東地方整備局を訪問し、銚子連絡道路の早期完成に向けての要望活動を行いました。

国土交通省にて



東総地区広域市町村圏事務組合の概要

○事務組合の構成

構成団体：銚子市、旭市、匝瑳市

圏域面積：316.16平方km

圏域人口：168,262人

銚子市 面積：84.19平方km 人口：64,415人

旭市 面積：130.45平方km 人口：66,586人

匝瑳市 面積：101.52平方km 人口：37,261人

【平成27年国勢調査より】



○事務組合の組織



平成28年度 東総地区中学生海外派遣研修事業

圏域内中学2年生30名の参加による『東総地区中学生海外派遣研修』が、シンガポールにおいて平成28年7月26日から30日（4泊5日）までの日程で実施されました。

この研修では、シンガポールでの班別自主研修や現地学校の「セコラ・インドネシア・シンガプーラ」を訪れての交流会、水処理施設の見学など積極的な英会話の実践をテーマとした研修を行ってきました。

班別自主研修では、事前の研修会で計画した行動予定に従ってシンガポールの街を散策しました。道に迷うなどのハプニングもありましたが、各班とも団員が協力し合い、これまで学習した英会話に身振り手振りを加えながら、道を尋ねたり買い物をしたりと楽しく一日を過ごしました。

現地学校との交流会では、現地校生徒からは歌と民族舞踊を披露していただきました。こちらの研修団からは日本語と英語の歌の合唱、折紙の実演、シェイク・イット・オフのダンスを披露しました。そして交流の証として記念品の交換を行いました。その後、いくつかのグループに分かれ現地校生徒に校内を案内していただき、日本の学校との違いに団員たちは驚いていました。短い時間のなかではありましたが、異国の友達と英語を使って交流することができたことは貴重な体験となったことでしょう。

今回の研修では、多民族国家であるシンガポールで、公用語である英語を通して、お互いの文化・生活・宗教を理解し尊重しながら生活している様子を肌で実感することができました。

この経験が、次代を担う中学生たちにとって国際社会への関心を高めるとともに、日本の文化・日本の良さなどを再認識する一つのきっかけになってくれればと思います。



班別自主研修
シンガポール・フライヤーにて



交流会
合唱の様子



交流会
学校案内を受ける様子



ニューウォータービジター
センター（水処理施設）にて

その他の主な事業

職員採用試験事業

構成市、圏域内一部事務組合の職員採用試験を合同で実施し、経費の節減・採用候補者の資質の均一化を図ります。

第1回

実施日：平成28年7月24日（日） 試験会場：銚子市保健福祉センター
参加団体：2団体（銚子市、八咫水道企業団）
試験職種：4職種（一般行政職上級、技術職上級（土木・電気）、保育士職・幼稚園教諭職）
応募者数：86名 受験者数：69名

第2回

実施日：平成28年9月18日（日） 試験会場：銚子市立銚子高等学校
参加団体：5団体（銚子市、旭市、匝瑳市、八咫水道企業団、東総衛生組合）
試験職種：9職種（一般行政職、技術職、保育士職、消防職等）
応募者数：200名 受験者数：173名

職員共同研修事業

構成市職員の公務員として執務に必要な基礎的知識を習得するとともに、指導力及び勤務能率の向上を図ります。

新任職員研修：新規採用職員
中級職員研修：在職期間10年以上の職員
監督者研修：係長又は同等の職にある者……ほか